

平成28年度
区政モニターアンケート【第3回】
結 果

調査内容 「ちよだインフォメーション2015（便利帳）」について

調査期間 平成28年11月11日～平成28年11月25日

調査対象 区政モニター（61名）

回答数 55（回収率90.2%）

※各設問でお寄せいただきました選択肢の理由等の記述は、ほぼ原文のまま掲載させていただいているため、体裁は統一しておりません。ご了承ください。

平成28年12月28日
千代田区政策経営部広報広聴課

千代田区政モニターの内訳（平成28年11月現在）第3回アンケート

※（ ）内は第3回のアンケート回答者数

年代	男性 35名（33名）	女性 26名（22名）
20歳代	3名（2名）	2名（1名）
30歳代	5名（5名）	10名（9名）
40歳代	11名（11名）	10名（8名）
50歳代	11名（11名）	1名（1名）
60歳代	2名（1名）	1名（1名）
70歳代	1名（1名）	2名（2名）
80歳代	2名（2名）	0名

	男性 35名（33名）	女性 26名（22名）
在住	14名（13名）	21名（18名）
在勤	20名（19名）	5名（4名）
在学	1名（1名）	0名

【目次】

※下記目次では、実際の設問を簡略表記としています。

「ちよだインフォメーション2015（便利帳）」

Q1：「ちよだインフォメーション（便利帳）」の発行の目的として、適当なものは？・・・	2
Q2：「ちよだインフォメーション（便利帳）」の発行頻度として、適当なものは？・・・	5
Q3：各自治体が発行する便利帳をどの程度活用しているか？・・・	8
Q4：対象者に応じて作成した目的別小冊子へ誘導する手法をどう思うか？・・・	10
Q5：全戸配布の必要性和配布方法は？・・・	12
Q6：「ちよだインフォメーション（便利帳）」の中で改善して欲しい点は？・・・	15

【Q1】「ちよだインフォメーション(便利帳)」の発行の目的として、**適当だと思うものを教えてください。**

(n=55 件)

a. 生活に必要な情報をできるだけ多く掲載する(全ての概要が分かるようにする)	46 件	83.6%
b. 転入者にとって必要な情報のみを掲載する	7 件	12.7%
c. その他	2 件	3.6%

【Q1-1】Q1のように考える理由を教えてください。

a.生活に必要な情報をできるだけ多く掲載する(全ての概要が分かるようにする)

- ちよだインフォメーション 2015 (便利帳) は、必要なものと考えるので。
- インフォメーションと名乗っているので、手に取る人はそのような便利なものとしてとらえると思います。
- 我が家でも度々開くことがあるので。
- 生活するのに便利だから。
- 自分で情報にアクセスできない人に提供すべき媒体だから。
- 2年に一度の発行なので新たな情報も入っていると思われ、すべての人への配布が望ましいため。
- このような便利帳はがあると活用用途があるので、載せるなら中途半端ではないほうが好ましい。
- 情報誌なので。
- 知っている情報でも再確認する必要があるため。手続きや届け出の書類は複雑であるから、手引書があった方がよい。
- 転入者であろうがなかろうが、必要な情報は、個々人によって異なる為。また情報は、時と場合によって必要だったりなかったりする。
- 市民生活を行う上での情報収集として出来るだけ多くを掲載すべきと考えます。まだ、インターネットの環境を整備していない人や使用できない人もいますので、基本的には全ての概要がわかることが望ましいと思います。
- 情報は殆ど載っている方が便利。ただ、巻頭に、主な変更点がまとまっていると便利。
- 町会での結びつきも弱くなって情報が伝わりにくくなった昨今、インターネットのみでは、満遍なく情報が届かないと思われれます。
- 普段インターネットを利用しない方々でも、必要な情報を 1冊で入手できるようにするため。
- あらゆる制度等を周知させることが必要。
- この冊子を活用することで、区民の疑問や問題を解決することができるから。
- ただし、少し〇の感じもある。千代田区は独特のサービスやルールもあるから、転入者が必須の部分をより目立つようにする方がよい。(特に外国人はルール無視する人が多いので中国語でゴミの捨て方と路上禁煙を目立つように載せるべき)
- 全てネットで確認できるが、それでも書籍化する意義があると思う。ネットは「必要な箇所しか参照しない」が、本にすると、ぱらぱらめくって「意外な発見」などがあるため。

- できるだけ多くの情報がはいつているのがよい。
- 都政は担当が変わる（知事）といろいろと見直され変わります。
- 区役所として、生活に必要な情報は他では得られない。
- 区内に長く住んでいても、家族（自身）の状況・妊娠・出産・子育て・入園・入学・病気・介護・・・によって知りたい事も変わり、情報が欲しい事が変わります。転入者のみに配られると、状況が変わって知りたい時に、困るから。
- 1冊の本に、生活に必要な情報がまとまっていると、参照しやすい。
- 生活していくうえで必要だから。
- いろんな情報を多く掲載する目的での便利帳だから。
- 生活者にとっては、いつ何が起こるかわからないので、一般的に必要な事項を広く記載してあるのが望ましい。
- 「区民の虎の巻」的存在であってほしい。
- どのような情報があるのか、調べるものが他にないから。
- 便利帳という性格だから、手元で何か千代田区のことを知りたい（どこにアクセスしたい）場合にとりあえずなんでも調べられることが必要かと思いました。
- いざという時、一冊にまとめてもらおうと探しやすい。
- パソコンで検索する世代には不要だが、高齢者のことを考えると出来るだけ多く掲載したほうが、安心するのではないかと思う。
- 転入者だけではなく既に住んでいる区民にも、必要な情報を載せている便利帳の方がより多くの方に役立つのではないかとと思うから。
- 千代田区が持つ魅力を再認識できるため。
- 一冊で全部が分かるのが便利だと思います。
- 掲載されている情報が生活や人生のイベントに関係するものが多いため。
- 区民がすべてを知って恩恵を受けるため。区民として知る権利と義務があると思います。千代田区での生活がこの一冊で分かりもっと生活の楽しさを広げることができます。気に入ったイベントに参加し知り合いを作ることもできます。
- 欲しい情報は人それぞれですので網羅的に掲載すべきと考えるため。
- パソコンやスマホより、手に取って全体の中から必要なものを知ることができるため。
- 区内に住む方のための情報誌であるので。
- 長年の住民ほど古い情報しか知らない場合があるから。
- 転入者だけでなく、何年か住んでいる住人に取っても有用な情報が多い。また、生活に密着したサービスは、用が生じないと関心を持たないものも多いので、定期的に区のサービス全体の概要がわかるこの便利帳は良いと思います。
- 装丁もしっかりしているので、時々利用するため。長く使えるから。
- 多くの情報はwebsiteや電子書籍から得ることができると思うが、ネット環境にない方も存在している。また、website類は探す内容が特定されていてみるものだが、印刷物での閲覧性は、その対象以外のものも発見できて便利である。
- 居住者であっても、知らない内に情報が更新されるので、いろいろ概要がわかる方が嬉しい。概要を網羅し、詳細はネットへの参照であっても良い。
- 必要な時に必要な項目をすぐ見られるようにしていただきたいから。

b.転入者にとって必要な情報のみを掲載する

- 一番はコストの問題です。毎回、フルバージョンの情報を出すことは、ロード(人件費)がかさむと思います。
- 長く住んでいるものにとっては、ほとんど送ってもらっても読まない。転入した時しか、真面目に読まない。
- あまり情報が多すぎても読んでもらえないから。
- 必要としているので。
- 多過ぎる情報は必要な情報をさがすのにも時間がかかり、見るのも面倒になるので情報は必要なものだけにした方がよい。
- その点に特化した方がより有意義に活用されると思うから。実際、私は区内在住歴10年で、この便利帳を活用したことはないです。
- 今は全てインターネットで見ると調べることができるので、また子育て応援ガイドブックや毎月発行の広報誌にも同じ内容がのっていたりするので、今現在住んでいる人には必要ない。

C.その他

- 【詳細】生活に必要最小限の情報を掲載する。
(理由) 情報が多すぎるとは、それを読んで調べる気力が失せる。
- 【詳細】空欄
(理由) 千代田区に生活している人が読むものなので

【Q2】「ちよだインフォメーション(便利帳)」の発行頻度としてどのくらいが適当だと思いますか
(発行が複数年ごととなる場合、その期間に生じた修正は広報紙や ホームページで周知する
ものとします)。

(n = 55 件)

a. 毎年発行する	10 件	18.2%
b. 2年ごとに隔年で発行する(現行どおり)	28 件	50.9%
c. 3年ごとに発行する	8 件	14.5%
d. 5年ごとに発行する	5 件	9.1%
e. ちよだインフォメーション(便利帳)は不要	4 件	7.3%

【Q2-1】Q2のように考える理由を教えてください。

a. 毎年発行する

- 毎年の刷新が必要と考えます。ネットをアクセスしにくい人もいますので。また、在勤者にも、希望者には全員に無料配布してほしい。広報紙も、在勤者には入手しにくいので困ります。
- 引っ越してすぐもらえると便利だから。
- 頻繁に情報が変わるから。
- 行政の変化のスピードに合わせて。
- 変更に対応できるように。
- 一年でそれなりの更新があるであろうから。
- 情報が細かくかわると思うので。
- 区民が必要とする情報は日々新たなものであり、年度ごとの発行が望ましく、また転入者が困らないためにもそれが望ましいと考える。
- 年々、情報は更新され、時々刻々と世の中は移り変わるからです。
- 1年の間に人口の移動も多いし、内容も変わると思う。1年に1回必要と思う。

b. 2年ごとに隔年で発行する(現行どおり)

- 今のままで、問い合わせなどの電話番号などで不自由を感じないから。
- 本来は毎年が望ましいと思うが、予算等のことを考えると、2年に1回が順当だと思う。
- 毎年か3年ごとでもいいかもしれないが、何となく2年が妥当。
- 発行の頻度は、区民の利用頻度や使用実態を調査する必要性を感じます。全ての人がインターネットで区政の情報が取れば、このような便利帳は必要なくなるし、それは現実的に不可能でありませぬ。行政情報が刻々と変化する中、毎年の発行では経費負担が財政を圧迫するものと考えますので、変更した部分のみを「差し替え」出来るような方法は、物理的で可能でしょうか。
- 多すぎず、少なすぎず適度な頻度だと思うから。
- 毎年、情報がそうそう変わる訳でもなく、費用も発生するため、隔年で適当。区への転入者には住民票の登録時に渡すようにしたら良いと思う。

- 毎年はそのままで変わらないから。
- 予算を気にしないのであれば、毎年発行して情報を更新するのが理想だと思うが、それでは現行より予算が増えることになるため、現行どおりが適当だと思う。
- 予算が許すのなら現状のままで。予算厳しくなれば3年4年おきでも。ただし、修正部分は広報掲載と共に、より精緻にホームページに掲載する（修正一覧と題して、何Pのここはこうなるみたいに変更点をわかりやすく）
- 変更箇所の差し替えや追加冊子で対応しても良いと思う。
- 変更箇所が少ないと思われるので隔年でよい。
- 毎年だと費用対効果（変更が少なく、変更の必要が有るか??）から無し。3年以上でも、間が空きすぎて情報が正しく無い事もできそうです。現行は変更を網羅しつつ、情報の更新ができ、区民の関心も「何が変わったかな？」と言う視点でも見られると感じます。
- 修正などは、広報紙・ホームページでも見られるので。経費削減にもなるので。
- 必要情報は毎年発生するとは想定できない。しかし、3年以上となると情報自体が非現行になりかねない。
- 最初は毎年出してほしかったが、やはり経費がかかるのと内容的にさほど異動や変化が無いページも多いと予想されるので。（古紙処分も毎年になってしまう）
- 毎年は必要ないし、2年ごとなら生活のスタイルに変化もあり、便利帳を見たいと思うので。
- 毎年だと、無駄な気がするし、数年に一度だと保管している間に便利帳の存在自体を忘れてしまいうから。
- 1年かけて構成を検討する必要があると思うため。
- 最近はずっと変更が多い、早い気がする。
- というよりも、むしろ大幅な変化があった時でよいのかな？と思います。
- 年々多様で複雑な社会で生活するためには2年ごとの発行が最善でしょう。去年の項目内容が来年にはどのくらい残るか、変化するか、消滅するかなどが一目で分かるからです。
- 制度が毎年毎年大幅に変わるわけではないとおもうから。
- 毎年がベストだとも思うが、コストを考えると隔年で良いのではないか。
- 3年に1度だと、新しい事業が入らなかつたりする。また、毎年だと、網羅的なものは追いつかない、できたと思ったらもうすぐ翌年、ということもあるかと思う。
- 新情報、変更された情報があるので、毎年発行が理想であるが、ボリュームと費用を鑑みると隔年程度か。
- 毎年来る電話帳はかなりウザイので。2年ぐらいで良い。
- 毎年発行だと変更点がない場合も考えられるし、3~5年間隔が空くと便利帳の意味が無くなってしまいうから。

C.3年ごとに発行する

- 経費と便益のバランスを考えて。
- 率直な意見として、2・3年と思いました。
- 多すぎても財政を圧迫するから。
- 大幅改訂の折というのが一番よいと思いますが、時代の移り変わり変化からみてこのくらいかな、と。5年に1回でもその間の変更事項はネットで補訂されたのを見ることができるようにする旨、便利帳にサイトアドレス記載しておくとのよいのではないのでしょうか。
- 手続きの変更はあまりないと思うので3年程度でよいと思う。
- 欲しい方だけ配布してもよいのでは？と思います。
- 掲載情報の多くの実態が変わったときに更新すればよい。
- それほど大きな改編はないので、差分がPDF等でダウンロードできるなら、3年ごとでも良いと思う。(個人的には4年に1度くらいでよいと思うが)

d.5年ごとに発行する

- 3年か5年ごとの発行でいいのではないかと思います。理由は、知事が変わり、都政の見直しが行われて内容が大きく変わる。その他はあまり変化はありません。
- 基本の内容はそうそう変更があるとは思えず、現状の2年毎に大幅な変更が行われているとは考えられない。3年もしくは5年または区長の任期に合わせて見直す程度で十分と判断します。
- 冊子の発行頻度を下げて、HP掲載で日々最新情報を見えるようにする方がサービス価値が高いと思います。
- 毎年が多すぎるので。
- 5年たつと変化が大きいと思います。2年ではそんなに変化はないと思います。

e.ちよだインフォメーション(便利帳)は不要

- 必要な人に、必要な時に渡すものとして作成した方がよいのでは。全部に配布は、いらないと思う。毎年は、あり得ない。
- 一冊にまとめるから読むのも大変。
- HPを見た方が分かりやすい。冊子だと検索性が低い。冊子を保存するのが面倒。情報が欲しくなったらHPより検索する。
- 困った時はネットや電話、また近いので出張所で直接お話を聞けるので。

【Q3】各自治体が発行する便利帳(千代田区の場合「ちよだインフォメーション」)をどの程度活用していますか？

(n=55 件)

a. よく使っている	1 件	1.8%
b. 必要なとき(疑問があったときなど)に使っている	29 件	52.7%
c. ほとんど使わない	15 件	27.3%
d. 全く使ったことがない	10 件	18.2%

【Q3-1】Q3で「a. よく使っている」または「b. 必要なとき(疑問があったときなど)に使っている」と答えた方にお聞きします。よく利用する項目、または何回か利用したことがある項目を教えてください。

- 医療情報など
- 観光ページ
- 調べたい事がある時。医療機関など。
- (自分の住んでいる区では)添付の地図に公共機関の位置やサービス内容が記載されており、これが便利である。
- 施設案内
- 毎回調べる事柄が違うような気がするし、何回も調べたかもしれないことは逆に覚えていない。
- 病院一覧は便利。子供が幼稚園に入るので、手続きを何回か確認した。
- 施設案内
- 公共施設の利用案内
- 区の施設を探すとき、2年で3回くらいみた。
- 子育て関連(児童館等)、住宅関連
- 必要な時に使えるので便利である。
- ①施設案内と出張所内で取り扱う業務、②風ぐるまのルート(時間が変わるのでこれは別)、③ライフラインの電話番号
- 図書館の利用、ネズミへの対処、使用済小型家電の回収
- 施設案内5回程・医療機関一覧3回程・自転車駐輪場2回・防災5回程
- ないと困るし、必要になったときは大変助かる。毎日必要ではないから。
- 千代田区の施設案内
- 健康・医療のページはしょっちゅう見る！子ども・教育、届出、区議のページ、カラーページも見る。
- 施設案内や案内図を利用する。
- 人口の様子。病院の情報
- 行政、医療機関
- 各主相談、健康と医療、身近な区政など。
- 住民票をとるとき(時間を調べる)。戸籍をとるとき(扱っているところと扱っていないところがあるため)

- 保育園入園に関する補助制度を確認したとき。
- 妻の妊娠・出産・保育園・児童館等便利に活用しました。
- 配布された時に、ザッと目を通す。
- 「施設案内」は、業務日・業務時間が知りたいことがよくあるので利用している。
- 保育、学校教育、健康／医療
- スポーツ施設。医療機関。
- ごみの分別、医療機関一覧、施設案内

【Q3-2】Q3で「c. ほとんど使わない」または「d. 全く使ったことがない」と答えた方にお聞きします。その理由を教えてください。

- アナログ的な便利帳より、ネットなどを利用する事が多いため。
- 時必要な情報に自分でアクセスできるから。区が提供したい情報と区民がほしい情報には、たいがい解離があるから。
- 千代田区のホームページを利用するため。
- 公式サイトの情報で十分だったため。
- 存在を知りませんでした。
- インターネット上で情報を収集しているため。
- インターネットで情報を収集するため。
- 必要な情報は千代田区ホームページ等インターネット経由で入手するため。一方で、転入直後等自治体のサービスを多用する機会には便利帳を活用しています。
- 不便なので。
- たまたま情報を必要とする事態にぶつからなかった。
- 分厚すぎて置くところに困り捨ててしまった。必要な情報は子育ての情報で、別冊で発行している子育ての便利帳で十分だから（子育て応援ガイドブック）
- 配布されたときは、一通り目を通すが、その後はWebサイト（千代田区）で確認することが出来るから。
- 知りたい事がある時には、パソコンやスマホで検索してしまうので。
- Webで事足りるので。
- インターネットで検索すると調べられることが多いため。
- 必要な情報は、ネットで十分だから。
- 存在を知らなかったから。
- 存在自体を知らなかったし、どこで入手できるかも知らないから。
- ネットのHPですぐ調べがつくから。
- ネットでみてしまうから。
- ネットで調べるから。
- 分からないことがあったら、区役所に電話をしています。その方が時短になるので。
- 求める情報があるかどうか分からない。HPを見た方が早い。
- 広報誌みたり、ネットで調べたりできるので。この厚手の1冊を保管するのも邪魔だし、毎年変わるのであれば紙の無駄になりそう。
- 掲載情報数が多すぎるため、それを読んで調べる気力がない。

【Q4】区は「ちよだインフォメーション(便利帳)」以外にも、対象者に応じた目的別小冊子を作成しています(例:子育て応援ガイドブック、高齢者サービスのしおり、障害者のしおり)。一部の自治体では、重複する情報は便利帳に掲載せず、目的別小冊子への誘導のみを掲載していますが、この手法についてどう思いますか。

(n=55件)

a. よいと思う(重複する内容は掲載する必要がない)	33件	60.0%
b. よくないと思う(重複しても掲載する必要がある)	22件	40.0%

【Q4-1】Q4のように考える理由を教えてください。

a. よいと思う(重複する内容は掲載する必要がない)

- 効率的だから。
- 弱者目線の施策と言えるから。
- 無駄に厚くすることは、閲覧者の見る気持ちを削ぐ可能性がある。
- 情報として十分だから。
- コストを考えると、重複を除くのはやむを得ないと思う。
- 必要な人が、必要な部分だけほしいから。便利帳に吸収してしまうと、分厚すぎて、読まない。
- 重複する内容は、それぞれの専門領域での広報等のほうが良いと考えます。関心の無い人にとっては、効果はなく、対象者に絞った方が、費用対効果が高いと感じます。
- 重複記載は無駄だと思うから
- 纏めると、情報が埋もれてしまう。必要な人に必要な情報が伝わらない可能性がある。
- 経費の面から考えて。
- 人間必要なことは一生懸命探します。必要でないときは流していますから。
- 作成費用が(必要な人に必要なだけあればいいので)少なくてすむのではないか。
- 目的にあるものを簡単に手に入れやすい。
- テーマ別、目的別は、軽量で小さく、すぐ手に取りやすいアクセスの良さがあるから。
- 他県でもそのようにしている。
- とてもよいと思います。重複する内容をわざわざ掲載する必要はない。
- 単に本が厚くなるだけで、むしろ不便になるおそれがある。特定のテーマについてはより詳細である必要がある。
- 重複すると混乱する。
- 現状、分厚すぎて活用できていない。子育て応援ガイドブックは、すごい使っているのでも目的別の小冊子が望ましいと思う。
- 簡素化。ネットデバイスのことも考えなければいけないからすべて廃止はよくないが、多数はおそらくネットで情報を得るので、一つの冊子に誘導することでよいのではないか。
- 便利帳で必要な情報を探すのにページ数が多くなるほど高齢者などは手間がかかると思う。そして、必要な人が必要とする冊子を受けとる方が、無駄がないと思うから。
- 便利帳は手引きだけの方が適切に感じるため。
- 必要なことは取捨選択すべき。

- 子育て応援ガイドブックは過去によく活用していたので。
- 重複して、中身の表記が異なる箇所があった場合、どちらが正しい情報なのかが判断できない。読者が迷う。
- 重複はムダと思う。どうせ見ない。厚すぎると見る気がしない。
- 子育て応援ガイドブックは以前児童館に置かれており、いただいて活用したことがある。知りたい内容のみコンパクトにまとめられており、便利帳を開いて探すより早く情報を得られる。
- 重複する必要がない。それぞれ必要な人で見たいから、みんなに知らせる必要がない。
- 便利帳を読む気力が湧いてくるよう、できる限り薄くしてほしい。
- 重複は必要ない。必要な人は、必要な冊子を手に入れれば良いから。

b.よくないと思う(重複しても掲載する必要がある)

- 重複しても必要な情報は載せた方がいい。(漏れをなくす)
- どのタイミングでどの冊子を手取るかは分からないため、必要な情報は掲載すべき。
- 見逃す情報がありそうだから。
- 1冊にまとめた方が、読者の手間が減るため。
- 便利帳を見ればすべての情報が得られるというイメージがほしいから。
- 冊子を手に入れることができなかつた人やたまたま冊子を見かけなかつた人もいると思う。その人に必要かどうか、区はどうやって全把握しているのですか？
- そもそも、目的に応じた小冊子が不要。600万円かけているのだから、しっかりと住民も参考にすべき。そこまで住民に優しくする必要はない。
- 便利帳一冊ですべての情報を得られることに利便性があると思うから。
- 全ての媒体を入手できるとは限らないから。
- 探すのが大変なので。
- 子育て応援ブックが更新されずに届かない場合もあるし、手間隙かかるので一律配布が良いと思う。
- 便利帳にすべての情報が入っているのが望ましい。
- 目的型小冊子は直近に迫る事でしょうから個別になる事で手元(バッグや、キッチンなど)に置き、いつでも見られる様にした方が効果的と考えます。
- 絶対便利！正しく情報にたどり着くためのルートは多い方が良い(スマホやネットの時代でも冊子を現に利用するコトが私は多いので、重複していても載っていると安心。ルートが一冊に限定されてしまうのは怖い)
- 一冊で全部載っている方が分かりやすいので。
- 簡単に紹介を掲載し、その存在を知らせる効果があるからです。例えば、定着したイベントなども紹介した方が便利かと思えます。
- 自治体の発行物は認知度が低く知らないものが多いと思うため、重複掲載は必要だと思えます。
- 一冊で完結する方が良い。
- Q1-1と重複しますが、全般的な情報がまとまっていると、何か調べたい時に便利だから。
- 大事な話なので、複数の媒体に書かれていることは良いと思う。
- 現在該当者でなくとも、明日には該当者になることもある。例えば、出産／保育、介護。また、区民として、行政サービス一般を確認することが必要だと思う。
- どちらの媒体にも共通の情報をのせることが大事であり、区民サービスだと思うから。

【Q5】現在「ちよだインフォメーション(便利帳)」は全戸配布を行っています。
 全戸配布の必要性について教えてください(区のホームページでは電子書籍として公開しています)。

(n=55件)

a. 発行ごとに毎回全戸配布する	19件	34.5%
b. 毎回ではなく5年や10年の一定の期間で全戸配布する (全戸配布しない年は希望者のみに配布する)	6件	10.9%
c. 全戸配布はせずに高齢者の居る世帯のみに配布する	0件	0%
d. 全戸配布はせずに希望者(世帯)のみに配布する	19件	34.5%
e. 全戸配布はせずに高齢者の居る世帯及び希望者(世帯)のみに配布する	8件	14.5%
f. その他	3件	5.5%

【Q5-1】Q5のように考える理由を教えてください。

a.発行ごとに毎回全戸配布

- 千代田区に住んでいて見どころや観光スポットがたくさんが何処か知れるのは大きな発見になるため。
- そのほうが親切。
- 情報へのアクセスは公平でなくてはならないから。
- 新たな情報を知らせる必要があるため(発行頻度は別途検討)
- 手元にあったら便利だから。
- 2年に一度くらいは、費用がかかるのはしょうがない。いくらインターネットの時代でも、冊子を読み返すことは重要。
- 希望者をリストアップする作業が無駄。
- 一年でそれなりの更新があるであろうから。
- 届けてもらえれば読むので。届けてもらいたいです。
- このようなものは、ベーシック情報だから。ただし長期居住者(10年以上~つまり過去に3~4回もらっている人)は、希望者のみにして、新規発行の情報を広報でみて欲しい人は出張所にとりにいくという方法でもよいかもしれない。新規住人は当面もれなく配布がよい。
- 住んでいる区の情報を主体的に調べるために、ネットの情報とは別に冊子で家庭に保管するのが良いと思う。財政難ならまだしも、全戸配布をやめたら行政側に市民が歩み寄らないといけなくなるような姿勢がおかしいと思うから。
- 必要な時にいつでも見られて便利だと思う。
- パソコンを見ない人はまだまだいると思う。私も必要とする時しか開かないので全戸配布してほしい。
- 千代田区の可能性や魅力を感じることが出来るため。
- 人工増加の背景から毎回全戸配布は必要で、冊子に親しくなってもらうためです。

- 区民全員が平等に同じ情報を享受するべきだと思うため。
- わざわざ入手しに行くものでもないでしょうが、欲しい時にあると便利だと思います。辞書のようなものですね。区のホームページとも重なるのですが、ホームページよりもずっと早く欲しい情報を探せると思います。
- 区民には全員配られている（インフラとなる）ことが大事だと思うから。電子媒体は可能な人間にしか手に取れないので、物は欲しい。電子ブックは、今や推奨されない、Flashによるものなので使いづらい。
- ホームページを見られない人達もいらっしやると思うので、全戸配布が望ましいと思います。

b.毎回ではなく5年や10年の一定期間で全戸配布(全戸配布しない年は希望者のみ)

- 不要の人もいると思うからだが、一定期間で全員に配布するなら必要と感じた時に頼めばよいシステムにすると、区の紙代金が相当浮くような気がする。
- ①行政内容が大きく変わった場合は、特別小冊子で届ける。②04のような小冊子を、対象者に配る（必要があれば）③転入者・希望者には、今までのように配布する。
- 5年か10年にすれば発行部数は、全体として減少できると思います。そうすれば予算は減少できます。
- 経費削減につながるし、何冊もいらなと思うから。
- 実際にはかなりムダになっていると思う。小規模な事務所ではけっこう使うことがある。
- 必要としない人もいるはずなので。

d.全戸配布はせずに希望者(世帯)のみに配布

- Q3でも答えた通り、ネットなどが使える人は、そちらを利用するため。それ以外の方はアナログ的な方がいいかと思います。
- ネットがあれば十分な場合が多いので、ネット環境のない希望者のみに配布で良いと思う。
- 税金の無駄になっている。必要ない人に配るのは、お金を捨てるようなもの。紙の無駄、エコではない。
- 必要な人に渡ればよく、不要な人には無駄になるから。
- 区民それぞれに即して形で活用してもらうのが良いと考えるから。
- webを使いこなせる世帯は、そこで調べが付く為、あまり冊子を必要としない、希望世帯のみに配るのがよいと思う。
- 全戸配布せず希望者のみでいいと思います。経費削減のためにも。
- 経費の削減と情報の必要度がむしろ高まる。
- aにするか迷ったけど、dでも良いかなと思ったのは、見ない家庭はムダになってしまうと思ったから。
- 製作費を500万円・配布に130万円はコストがかかりすぎているように思えるから。
- 今は、必要な情報をパソコンやスマホで検索する人が多いと思うし、便利帳を全く使わない世帯に配布するのはもったいないと思う。
- 必要な人は必ずいるの。
- 何回も使う人と、全然使わない人との差が大きい気がするの。

- 無駄になっている家庭が多いように思うので。
- 必要だと思う人が貰えば良い。その上で必要だと思う人が少なければ廃刊を検討すれば良い。
- 活用している方はインターネットを使わない方のみではないでしょうか？転入者には配布、もしくは希望の有無を尋ね、渡してもよいかと思います。
- 不要な世帯に配布した便利帳が読んでももらえないのは、もったいない。
- 私はホームページで取れば、紙は不要。そうは言え、親の世代だとそうも行かなそう。

e.全戸配布はせずに高齢者の居る世帯及び希望者(世帯)のみに配布

- 配布後即ゴミ捨て場に置かれているのを見かけるし、昨今は必要に応じてPCやスマートフォンで情報を集めるほうがはやいため。
- やはり、財政的な問題であると考えます。作成経費と配布経費から考えると、貴重な区民の税金であり、どのようにするかは、自治会等の意見を聞いたらどうでしょうか。
- a…千代田区は若い世帯が増えている中、全戸配布をしても活用しない世帯が多いと思う。
b, d…希望者のみ配布にすると、便利帳の配布は希望者のみということに気づかない人々にいきわたらないおそれがある。
c…高齢者のいる世帯のみとすると、高齢者がいなくとも希望する世帯に配付することができない。
- 経費削減
- 高齢者はネット環境を使わないので、冊子を配布した方が良い。若い人は情報検索を容易くしそうである。が、冊子を読みたい方もいるでしょうから、希望者にも配って欲しい。
- 財政を圧迫するため、不用な人も多い。
- ネットユーザーが基本的には多いだろうから、冊子体の便利帳は必要ないと思うから。
- 必要な人にだけ配る方が経済的、何のために毎月広報誌を出しているのか？これを見ておけば最新情報もわかるし、連絡先も書いてあるので尋ねる事が出来る。

f.その他

- 【詳細】全戸配布とともに、希望する在勤者全員に無料配布する。
(理由) 在勤者も、長時間、千代田区に滞在するので。
- 【詳細】区役所や公民館に希望者に取りにきてもらう。高齢者一律ではなくお世話を必要とする高齢者に限定すべき。
(理由) 全戸配布はコスト面。元気な高齢者が多い中、一律に取り扱う必要はないように思います。
- 【詳細】内容が大幅に変わった場合、全戸配布する。
(理由) 便利帳自体はすばらしいが、現在のインターネット社会においては少し時代遅れだと思う。大体の人は自分で調べられるし、高齢の方は便利帳をすぐに捨てたりしないので。

【Q6】「ちよだインフォメーション(便利帳)」の中で改善して欲しい点などの意見がありましたら、ご記入ください。

(n=43 件)

- ちよだインフォメーション 2015 (便利帳) は、在勤者の希望者全員に配布するよう改善してほしい。(無料で) 在勤者も、千代田区で勤労し、千代田区に税の面などで貢献していると思いますので、在住者並みのサービスを受けたいものです。
- 今の所は感じません。
- 今のままで見やすく気に入っています。
- もっと、簡素化して、経費削減していいと思う。
- 千代田区のブランドを大きく発信してほしいと考えます。他の区と違い、千代田区の良い所、他の区には無いような素晴らしい所のブランドを紹介し、日本の中枢の地としてのブランド力をなんらかの方法でアピール出来たら良いと思います。
- 主な変更点は冒頭にまとまっていると便利。次号では、風くるまの時刻表は載せてほしい。自転車置場については、利用可能期間だけでなく、申込開始時期も掲載してほしい。発行期間に合わないかもしれないが、民生委員の一覧かその情報を掲載した方がいい。
- カラーページを増やして欲しい。
- 災害避難場所と避難方法がややわかりにくい。基本的に自宅待機で、広域避難場所がないことはわかったが、一方で昼間住民の難民が大量に発生することも前回でわかった。そのひとたちをどこに誘導するのかなど、区の施設(設置)でなく都マターなのかもしれないが、そういう情報も載せておいてほしい。
- 大変立派な冊子で大切にに使わせていただいています。ただし、施設の場所とか、電話番号などあまり変わらないものについて掲載するのは、2年毎では煩雑すぎます。
それで提案ですが、バーンと大きな、立派な冊子は、5年に一度か、3年に一度にして、うしろに変わった部分のみの記載のある印刷物をとじ込める(またはファイル保存できる)工夫をしてみたいかがでしょうか。
税金は区民の汗と血の結晶です。どうぞ大切に、1円でも無駄に使わないで行使して下さい。都の億単位の金が、豊洲やオリンピック招致・会場のために、とびかっているのは本当に悲しく涙・涙です。
- 素晴らしいと思います。
- 多色刷りですし、関連連絡先の記載、リンク先の掲載もある。とても見やすく使いやすいと思います。
- 1ページの情報量をすくなく、1ページ1項目完結が分かり易いのでは。活字は必要最小限、表などで見やすく。
- とても見やすくわかりやすく使いやすいですね。大切に保管し、必要な時に利用させてもらっています。
- 改善して欲しい点はないです。よくわかりやすい便利帳だと思います。
- 全体を網羅し、また見やすいと思いました。民生委員やケアマネージャのことを知ろうと思いましたが、みつけれませんでした。全体の総合相談窓口でもあったら良いと思いました。
- 改善して欲しい点は無いです。むしろ毎回楽しみにしています。厚みもカラーも字もちょうど良い。広告が少ないと思う所もあります。せつかくの区民版なのだから地元の企業のPRや区民限定割引チケット(?)などもまとめたのせるか別冊子にして配っても良いと思います。

- 見やすく、探しやすいつくりになっていて、開きたいと思えてよいです。
- とにかく目的別小冊子と内容がかぶっているので重複するものは、省いて欲しい。例えばもっと防災の内容に力を入れるにせよ、区民にとって必要な情報がつまった便利帳になるのであるならば、子育て応援ガイドブックのように持ち運びができるタイプの方が使いやすく助かります。
- コールセンターの番号は目につきますが、千代田区の問い合わせ電子メールアドレスやサイトの案内が見当たらない。しゃべれない人のことも考えると、電話だけでは不十分ではないか。内容的にはよくまとまっていると思う。
- 趣味の欄もあってほしいです。例えば、歩く会の代表と連絡先や、どこかの場所で〇〇のサークルを開いているとか、入れてほしい。文字の色がうすくて見えにくい。
- スマホ版をつくってほしい。
- 転入者向けがあるといいですね。
- 情報が概要レベルすぎる。「こういう情報がある。詳細はHPへ」ばかりなら、はじめからHPを見た方が早い。
文字ばかりで直感的に何がどこに記載されているのかが分からない。
生活や住居などの分類ごとにまとめるのではなく、こういう人（対象者）であればこういう情報があるという形にまとめた方が見やすいと思う。
発行のための金額が高すぎる。全部HPにして浮いたお金をHPリニューアルや運用に回すべき。
- 例えば、1/3 ページほどの“コミュニケーション欄”のスペースを設けて、前回には書いていない緊急に知らせなければならぬニュースを載せるとか、謝罪——リユースとリサイクルの間違いを堂々と記載して来たこと。そのために、街ではリサイクル ショップの看板を掲げて商売が営まれていること。区政が率先して間違いに対する意見を表記することによって区民は教育されるはず。これは言い訳ではないはず。
- 見出し、検索をもっとわかりやすくしてほしい。あまり厚くしないでほしい。議員の名簿は不要。
- 千代田区について、とてもわかりやすく網羅されており、この1冊で大概のことは調べられるものだと思います。ただ、日常的には、インターネットで調べることが多く、活用できていないので財政のスリム化のためには、全戸配布は不要かと思いました。
- 便利帳や、広報誌など郵便局などに山積みになって置いてある、読まないなら必要ない部数が毎年あるので、こんなのを見ると税金の無駄だと思う。他のガイドブックも、冊子も、作りすぎ、配りすぎ、もっと慎重に税金を使って欲しい。予算などの面もあるかと思いますが、発行部数に注意してほしい。
便利帳については、エコなかみしつもよく、文字もちょうどよい、施設案内は知らないところもあったので知れて良かった。表紙は紫っぽいイメージなので、綺麗な桜のピンク色を色合いに出してほしい。
- 現状でよく出来ていると思います。その上で配布方法など掛かる費用の削減を出来るのであればなお良いと思う。
- あらゆる分野をすべて掲載するために詳細不明の通り一遍の記述を改善し、区民が実際に活用できるように必要な分野に的を絞りその詳細がわかる便利帳がいいと思います。
- よく出来ていていいと思いますが、敢えて挙げるなら、表紙の紙の厚さをもう少し厚くして欲しいです。すぐにペラペラになります。
- 施設案内は便利だが、一覧だとイメージがつきづらいので、カラーページの「施設案内図」から詳細を見るよう、参照ページを「施設案内図」に書いてくれると助かるかなと思った。

- サイズ、字の大きさ等、見やすく良いと思います。変更／追加になったことが明確にわかるといいかもしれません。アイコンをつけるとかで。
- 便利帳内の文字の色の種類が、少し地味に感じられます。多くの情報の中から欲しい項目をすぐ見つけられるように、文字の色を増やしていただければと思います。
- 特になし。10件

第3回区政モニターアンケートの集計報告は以上です。
区政モニターの皆さまご協力ありがとうございます。